



霧が丘

令和2年4月24日
横浜市立義務教育学校
霧が丘学園
校長 出口 晴基

霧が丘学園のみなさん! 何しよう? どうしよう?

小学部准校長 近江 学

4月7日の始業式から2週間以上が過ぎました。みなさん、規則正しい生活はできていますか?
1年生は初めての学校生活、7年生は初めての中学部での生活、2年生から6年生と8年生、9年生は学年が一つ上がりました。新しいクラスの友達との出会い、新しい先生たちとの出会い、それぞれの新しい学校生活を楽しみにしていたことでしょう。霧が丘学園の先生たちも、みなさんとの新たな出会いを楽しみに4月6日の入学式・進級式、7日の始業式を待ち望んでいました。限られた時間でしたが、みなさんと新たな出会いができたことはよかったです。

学校は長い休みが続いていますが、家庭学習では新たな課題にも取り組んでいますか。また、外出を控える生活の中でも、運動不足やストレス解消のために、ジョギングや散歩、縄跳びなど身体を動かすことにも取り組んでいるでしょうか。家の人と相談しながら安全に、そして感染症予防をしながら学校の再開まで過ごしてほしいです。

さて、霧が丘学園のみなさんは「すすんで挑み、自分をみがく」というスローガンのもとに、「何するだろうする」から「気づく考える行動する」へと着実に成長を遂げてきています。とても素敵なことだと感じています。今は、家で過ごす時間が多くなり、学校で勉強ができなかったり、友達と会えなかったり、部活動ができなかったり、「〇〇ができない」ということがいくつもあるかもしれません。このような時だからこそ、「何しよう? どうしよう?」と考えていきましょう。今できることは何か、自分で考え、行動することは「いつでも」「どこでも」できます。家庭学習を振り返り、計画を見直してみる。運動不足解消の方法を考えてみる。家の手伝いや家族のためにできることを考えてみる。自分の得意なこと、好きなことにさらに挑戦してみる。いろいろと気づくことがあるのではないのでしょうか。そして、気づいたこと考えたことを行動に移してみてください。今だからこそ「自分をみがくチャンス」だと思います。ピカピカにみがかれたみなさんと会えることを楽しみにしています。次の登校の時には、チャレンジしたことを友達同士で語り合える姿があるとうれしいです。

保護者の皆様、3月3日から続く臨時休業で多くのご不安を感じていることと拝察いたします。今般の状況下で学校として何ができるのか、そして学校再開後に何をしていかなければならないのか。度重なる休業延期の中、先が見通せない中、学校としてもできることを模索しているところです。今後の動向については、今まで通りミマモルメや学校ホームページにてお知らせをしていきます。ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

地域の皆様、臨時休業が長引く中、児童生徒の地域での過ごし方も通常とは異なっていることだと思います。どうぞ温かい目で見守っていただければと存じます。どうぞよろしく願いいたします。